

会議結果報告書

1	会議名	戸別収集実験事業に関する説明会（芹沢東部自治会）
2	日時	令和7年2月22日（土）14:00～15:00
3	場所	芹沢東部自治会館
4	出席者	（資源循環課）森岡課長補佐、八幡主事 （環境事業センター）富田所長、大関技能労務副主任 （芹沢東部自治会）参加人数：24人
5	内容	<p>資料に基づき、戸別収集実験事業に関する説明会を実施した。主な質問と意見は次のとおりであった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 自治会未加入者に対しては、どのように周知しているか。 → 自治会の加入に関わらず全戸に「戸別収集実験事業ガイドブック」等をポスティングするなど周知を進めている。</li> <li>● 日本語で記載された「戸別収集実験事業ガイドブック」が配布されたが、日本語が不自由な方へは、どのように周知しているか。 → 現在、英語版の案内を作成しており、今後市ホームページに掲載予定である。必要としている方がいれば、資源循環課まで連絡いただければ、市から案内する。</li> <li>● 観光農園を営んでいるが、事業系一般廃棄物が発生しない。「事業系一般廃棄物の収集運搬及び処分に関する申出書」を提出する必要があるか。 → 提出不要である。</li> <li>● 道路に駐車スペースが面しており、排出場所を設けることが難しい。どこに出したら良いか。 → 住宅の状況を確認し、排出場所を提案させていただきたい。</li> <li>● 夏季の収集業務が大変であると聞いた。戸別収集を実施するにあたり、何か対策を講じる予定か。 → 作業時間を調整しながら、収集業務を行なっていく予定である。</li> <li>● 戸別収集の検討している理由を教えてください。 → ステーションを起因とする諸問題に対応するために、戸別収集の実施を検討している。</li> <li>● ステーションを利用する方々でステーションを維持管理することになっているが、環境指導員は何を行うべきか。環境指導員の活動が見えない。 → ステーションを維持管理していくためのルール決めや不適正排出物への対応などステーションの利用者間の調整や市との調整などを行なっていただきたい。</li> <li>● 戸別収集を実施した場合でも、安心まごころ収集制度は継続していくか。</li> </ul>

→ 継続していく予定である。

● 住宅が増え、燃やせるごみや燃やせないごみのステーションは新設されているが、資源物のステーションは新設されていない。燃やせるごみや燃やせないごみのステーションに、資源物を出すことはできないか。

→ 資源物のステーションは、24 世帯以上で使用していただくよう案内をしているが、地域の実状に応じて設置を可能としているため、個別に環境事業センター業務担当まで相談いただきたい。

以上